

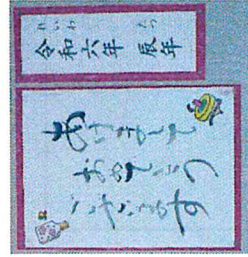
学校 だより な か じ ま



令和6年1月9日
川北町立中島小学校
校長 西田 真由美

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます

このたびの地震により、被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。



年明けの日に発生した能登半島地震により、不安な時間を過ごしたお休みであったかと思えます。修学旅行で6年生と行った輪島の朝市の場所が、火災のため跡形もなくなりまりました。何日もライフラインが確保できない中、避難している方々やその地域の方々が協力して炊き出しを行っている姿をテレビで見ても、今一番何が必要で、どのように協力して動かなければいけないか判断することがとても大事になると思えました。

電話連絡により、保護者、児童、職員全員の安否を確認できました。何気なく過ごしている日常の大切さに感謝しなければいけないと強く感じた数日間でした。そんな中で、3学期のスタートを迎えました。余震が続く中、まだ不安を抱えている子ども達もいると思います。子ども達の「心のケア」も行いつつ、自分の命を守るための行動がとれるように、いろいろな場面で伝えていきたいと思えます。

3学期も全職員力を合わせ、取り組んでいきます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

大谷グローブ届きました

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介します。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

大谷選手からのメッセージは、「野球しようぜ!」です。まずは、

全員にグローブをばめてもらいたいと思います。でも、野球だけに限らず、新しい年を迎え、新しいことをチャレンジすることを目指し、「OOしようぜ!」と友達に投げかける3学期にもしてほしいです。

〇〇に何をいれませ



地震における安全行動

パニックにならず、冷静な行動を！

- ① まずは、自分の身の安全を確保。
- ② 地震情報（震度速報、震源に関する情報、津波の有無等）の確認
- ③ 避難行動へ・・・避難が必要かどうか正確な情報から判断する

1. 在校時
- ① 安全を確保する行動・・・頭部を守る、窓や壁から離れる、体を低くする
- ◆場所によって自分で判断できるように（大人が近くにいない場合もある）

教室・・・机の下
廊下・・・壁から離れてしやがむ
体育館・・・真ん中に集まる
階段・・・しやがむ（動くときとすべったりして怪我をすることがある）

- ② ゆれが収まるまで待つ
- ③ 避難経路の確認を待つ
- ④ 避難開始 → 外へ（運動場真ん中へ）

2. 登下校中
- ① 安全を確保する行動・・・頭部を守る、窓や壁から離れる、体を低くする
- ◆通学路に何があるか、普段から気をつけてしておく。

※こんな危険が起こるかもしれないと予想しておく。

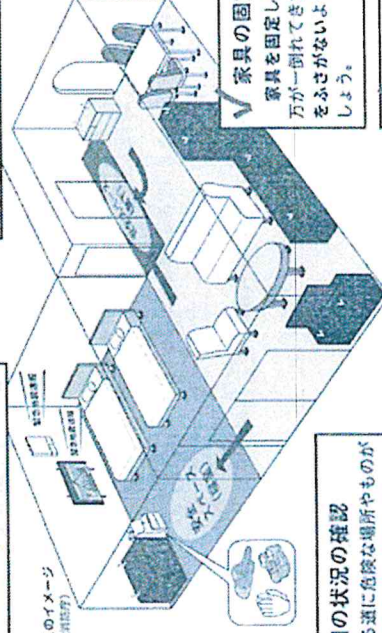
- ・かわらや割れたガラスが落ちてくる
- ・建物、ブロック塀が崩れる
- ・自動販売機、電柱が倒れる

- ② ゆれが収まるまで待つ。
- ③ 広く安全な場所に避難する。

広いところがない場合、耐震性の高い比較的新しい鉄筋コンクリートの建物の建物に避難

3. 家庭内

✓ 備蓄・非常持ち出し品の準備
非常時の水・食料の備蓄や、非常用持ち出し品を準備しておきましょう。



✓ 安全スペースの確保
室内になるべくものを置かない「安全スペース」(ものが落ちてこない・倒れてこない・移動しやすい空間)を作っておきましょう。

✓ 家具の固定
家具を固定しましょう。また、万が一倒れてきた場合でも、通路をふさがらないような配置を考えましょう。

✓ 訓練に参加しよう
本当に地震が起こったときにあわてずに身の安全を図ることができずか？積極的に訓練に参加しましょう。

✓ 連絡手段の確認
地震が発生したときの連絡手段や集合場所について、あらかじめ家族で話し合っておきましょう。

✓ 周囲の状況の確認
普段通る道に危険な場所やものがないか確認しておきましょう。また、地盤の弱い場所や地震によって地盤の緩んだ場所では、降雨などにより土砂災害が発生することがあります。前もって周囲の状況を確認しておきましょう。

気象庁ホームページより